



稲川勝憲議員

復興計画

# 復興計画どのように進めるか

## 意向調査などを参考に

**質問** 被災した居住地の確保について、「防災集団移転促進事業」や「復興土地区画整理事業」での2方法を進めるに当たって一番重要なことは、住民の合意形成である。町内各地区の整備手法の検討を進めるとあるが、どのように進めるのか。具体案を示せ。

**沼崎町長** 各地区の整備手法については、「防災集団移転促進事業」、「区画整理事業」、「漁業集落防災機能強

そのほかの質問

- ◆ 水産業について
- ◆ 農林業について
- ◆ 商工業について
- ◆ 雇用について
- ◆ 交通網・情報網について
- ◆ 住環境について
- ◆ 環境について
- ◆ 健康、福祉について
- ◆ 「防災教育の充実」について
- ◆ 「船越小学校の早期復旧」について

化事業」など3方法があり、被災各地区の状況により、どの手法の適用が可能で、住民のニーズに最大限応えるかを検討して整備手法を決めていきたいと考えている。

具体的には、今まで行ってきた住民説明会、アンケート調査、窓口での戸別相談および意向調査などを参考とし、状況に応じ住民と意見交換を行いながら検討を進めていく。

### 災害復旧

## 織笠橋・古川橋の復旧は

# ことし中に完成する

**質問** 東日本大震災の津波により流失した織笠橋・古川橋の復旧事業について、平成23年第3回定例会で「10月下旬に国の災害査定を受け、24年3月までには完成する見込みである」と答弁があった。しかし、い

まだに着工した気配がない。物理的に3月完成は不可能と思われる。遅れてい

### 町の考えを聞く



織笠橋は9月に完成予定です

る理由は何か具体的に示せ。

また、今後の着工、完成の見通しについても示せ。

**沼崎町長** 織笠橋・古川橋の復旧については、昨年第3回定例会において、平成24年3月までに完成する見込みであると答弁したが、①災害査定箇所や査定回数が多く、その対応に23年

12月までかかったこと  
②入札会を1月に予定したが、業者が辞退したことなどの理由で遅れ、大変不便をかけている。  
今後の見通しについて、

織笠橋は2月22日に入札会を行い、9月に完成予定である。また、古川橋については、町全体の復旧工事との調整を図りながら、ことし中には完成するよう努めていく。